



2025年11月発行

恵那県事務所振興防災課 家庭教育担当 大島
〒509-7203 恵那市長島町正家後田 1067-71

TEL 0573-26-1111(内線 208)

FAX 0573-25-7129

MAIL oshima-akihiro@pref.gifu.lg.jp

ママを支える妊娠期の家庭教育学級 パパも一緒に！

瑞浪市総合文化センター 中央公民館講座

「明日の親学級 こんにちは！赤ちゃん」

取材日 令和7年9月24日(木) 10:00~12:00

講師 加藤 里美 先生 (元瑞浪市幼稚園園長)

場所 瑞浪市総合文化センター 第1研修室

参加者 これから親になる方、そのご家族

「お腹の赤ちゃんとのコミュニケーション 楽しい子育てのポイントは？」



にこやかに応答される加藤先生

明日の親学級
こんにちは！赤ちゃん

日時
—5月24日(土)
—9月27日(土)
12月20日(土)
令和8年 3月7日(土)
10:30~11:30
全日程とも同一内容です

「明日の親学級」は、楽しい子育て・親子で心が育つ子育てを学ぶ講座です。「生まれる前から出来ることはあるの?」「どんなことにきをつけるといいの?」など、お子さんのご誕生前に知っておくと良いことがたくさん学べます。受講記念に記念撮影をして、母子手帳サイズの台紙に貼ってプレゼントします。

こちらからもお申し込みいただけます！

瑞浪市みずなみ未来部生涯学習課では、これから親になる方に向けて、「明日の親学級こんにちは！赤ちゃん」と題した公民館講座を年4回にわたって開催しています。今回は、その講師を担当されている加藤里美先生に、これから出産、育児を控えた未来のパパ、ママにどんな話をしてみえるのか、最近の思いなどをうかがってきました。

加藤先生から

【お話の内容について】(多少の変更はありますが…)

- 1 子育ては楽しんで
- 2 子育ては二人で一緒に
- 3 出産前のママの心と体は変化します
- 4 生まれる前に何を話し合えばいいの?
生活設計とともに どんな環境で子どもを育てたいか
パパ、ママの育休どうする?
- 5 パパ必見 つい出てしまうこの一言「OOOOO?」
ママがキレましたエピソード例
- 6 現役ママさんの話(赤ちゃんとともに)
赤ちゃんを迎えた生活はこんな感じ
- 7 3つの子育てポイント
メモ必須です
- 8 育ちの順序、発達について
- 9 大切にしたい 自然とのふれあい・絵本との出会い
- 10 育児は一人じゃないよ 支援センターで待っています

スマホなどメディアの時間は気を付けたいです

今日のお会いを大切に!

子育てQ&A、いつでもお待ちしております!

- 子育ては、やりがいのあるもの、お子さんの成長をみるのは、とっても楽しいもの、そして、お互いを思いやって、一緒に力を合わせて行うもの ということを第一に伝えたいです。
- 最近の傾向としては、育休をとるパパが増えています。二人目ができました。育休をとって一人目を育てています。など、男性の意識が確実に変わってきています。
- パパも積極的に育児に関わっている例を聞きます。「仕事を終えて帰宅したら、さっそく子どもとふれあい、泣いたらおしめを替える、お風呂に入れて寝かしつける、など見ていて『お見事』と言いたくなるほどです。」(祖母)

☆瑞浪市のこの取組は、これからのライフステージを考え、切れ目のない家庭教育支援のスタートになるものです。育児経験の豊富な元園長先生のお話で子育ての準備、心構えがつけられる貴重な機会です。🎯

地域で支える家庭教育支援の推進 各課連携の確かな歩み

令和7年度 中津川市 第一回家庭教育推進会議

日時 令和7年10月2日(木) 13:30~15:00
場所 中津川市 ひと・まちテラス 103会議室
担当 中津川市生涯学習スポーツ課
参加者 各部署代表者、有識者アドバイザー計14名



会の取りまとめ・進行を生涯学習スポーツ課が行っています

中津川市の子どもたちの健やかな育ちのために

中津川市では、家庭教育支援推進事業の一つとして市の各課の連携を図り、家庭の教育力を高めることを話し合う「家庭教育推進会議」を実施しています。この10月には、第一回目の会議が行われました。市の関係機関代表者や、有識者アドバイザー14名が参集して、家庭教育支援の推進状況を交流・討議しました。

各課が実施している推進事業の情報を共有することで、さらによりよい家庭教育支援について意見交流することができます。現状の活動を交流する中で、課題に対して連携できることはないか、他の課の事業を取り入れ支援できることはないかと連携を考察する会でした。

中津川市のこうした取り組みは、平成13年に「中津川市地域・家庭教育推進協議会」としてスタートしています。「『家庭教育支援』と『子育て支援』が、車の両輪のごとく、支援の方向を確認しあって推進する」という理念を具体化している会です。参加者の役職を拝見しても、その重要度がわかります。

会議の内容

- 1) あいさつ・会の趣旨説明 生涯学習課課長より
- 2) 自己紹介
- 3) 家庭教育支援の推進について
恵那県事務所振興防災課 家庭教育推進専門職 大島明浩
- 4) 情報交流
各課の家庭教育支援の取組交流、課題の共有
- 5) 子育てフォーラムについて
- 6) まとめ

推進会議で話題になったことが具体的な動きに!

実現に向けて推進している事業

- 1 子育てマイスター認定制度を活かした人材活用の呼びかけ
- 2 切れ目のない支援を目指して
子育て支援センター適正設置検討会議の開催
- 3 乳幼児学級と社会福祉協議会、子育て支援センターの連携
- 4 SNS・スマホとの上手な付き合い方教育
- 5 企業内家庭教育研修のすすめ
保護者を抱える事業主の「家庭教育」への理解を促進

【出席者と役職】

- 1 健康課 課長
- 2 教育研修所 所長
- 3 幼児教育課 課長
- 4 こども家庭課 課長
- 5 社会福祉協議会 課長
- 6 公民館代表 館長
- 7 図書館 館長
- 8 有識者(地域子育て支援拠点利用者支援専門員)
- 9 有識者(教育委員)
- 10 有識者(コーディネーター)
- 11 生涯学習スポーツ課 課長
- 12 生涯学習スポーツ課 課長補佐
- 13 生涯学習スポーツ課 主事
- 14 生涯学習スポーツ課 家庭教育指導員

平成29年度に中津川市家庭教育支援チーム「すくすくわくわくまるいこころ」が文部科学大臣表彰を受けました。経年にわたり着実な家庭教育支援の成果を積み上げてみえます。このように各課が連携するしくみが整っていることで、市の「家庭教育支援事業」がより効果的に推進されることにつながっています。専

土岐市立肥田中学校 PTA 家庭教育委員会 在宅型家庭教育学級

1家庭1ゲームの取組 紹介

日時 令和7年7月21日(火)～8月28日(水)

参加者 全校生徒148名とその保護者



家庭で良い時間を過ごすきっかけになりました

「話そう!語ろう!わが家の約束」実践カード

1家庭1ゲーム

年組
名前



やってみたいゲーム・遊び

複数でもOKです

選んだ経緯

取り組んだ感想や家族への思いを書いてみましょう。

やってみたいゲームの感想や
おすすめポイント

子どもから家族へのメッセージ

取組表も
ポイントが明確です



家族から子どもへのメッセージ



「家庭教育を実践する日」は毎月第3日曜日と「8」の付く日です。
他のゲームや遊びなど、また家族でチャレンジしてみてください!

「肥田中学校 PTA 家庭教育学級『話そう!語ろう!わが家の約束』運動のご案内」より引用

岐阜県が実施を推奨している「話そう!語ろう!わが家の約束」運動を、今年度も肥田中学校 PTA 主催で実施いたします。この取組は、親子が約束を決めて取り組むことによって、家庭内のコミュニケーションを深め、子どもの自己肯定感を育むことを目的としています。今年度は、「1家庭1ゲーム」として、夏休み期間中に取り組み、家庭内のコミュニケーションを深める機会にしていきたいと考えています。

取組方法(概要)

- 1 家族で話し合って、「やってみたいゲーム・遊び」を決めます。
- 2 トランプ、ボードゲーム、スポーツ、昔の遊びなど複数人で出来るものが良いです。
- 3 テレビゲーム、ネットゲーム等はできれば除いてください。
- 4 取組について、実践カードに記入します。
- 5 実践中や実践後に、家族で思いを伝え合います。
- 6 担任の先生に提出してください。
- 7 提出は任意ですが、取り組んで良かったこと、新しい発見、おすすめのゲームや遊びがあればシェアをお願いします。
- 8 学校報やお知らせで紹介させていただきます。

☆ やってみたいゲーム・遊びと感想・おすすめポイント ☆

- 家族でやると、わいわい盛り上がりとても面白かったです。(ウノフリップ・すごろく・百人一首)
- 誰かが逆転したときに盛り上がり、とても楽しかったです。人生を体験しているようでした。(人生ゲーム)
- ルールが簡単で初心者でもすぐに覚えられるのに、戦略性が高く飽きがきません。家族との駆け引きが熱い。(ラミー)
- 掌に乗せるのが難しかった。手が器用になるし集中力が高まった。ドキドキ感が楽しかった。(コンギ)

先生たちのおすすめも紹介されています

土本校長先生…7並べ
山岸教頭先生…ブロックス
和田先生…ウノフリップ
長谷川先生…すごろく などなど
柴田先生…百人一首
今井先生…スピード
岩井先生…将棋

【子どもから家族へのメッセージ】

- ・家族の仲良し度があがったからよかったです。たまにはこういうのもいいね。
- ・仕事で帰りが遅い中、付き合ってくれてありがとう。いつもお疲れ様です。
- ・全敗してしまいました。お父さんが強すぎる。次は勝つ。
- ・またやりたいです。次もこういう機会があったら、勝てるように頑張ります。



「約束」運動もアイデア・工夫で、保護者教職員がより主体的に取り組める活動になりますね。☺

【家族から子どもへのメッセージ】

- ・長い人生もうダメだと思ふような事があるかもしれないけれど、このゲームみたいに大逆転することもある。前向きに、ポジティブに!人生の教訓を伝えられるゲームになりました。
- ・最近なかなか話す機会が減ってきたと思ったけど、たくさん話せて楽しかったよ。またやりましょう。
- ・相手の表情や発した言葉など、よく観察して先を読むとヒントに気づくよ。楽しいゲームなので、いつでも挑戦を受けて立ちます。

令和7年度家庭教育支援員養成・スキルアップ研修会の紹介

10月16日(木) オンライン会議にて実施(県内の家庭教育支援チームや家庭教育関連の各事業所等が参加)

「期待される『家庭教育支援チーム』の動き」について研修しました

1 県民生活課より「1 家庭教育支援の現在地 2 家庭教育支援チームへの期待」のプレゼンから

1. 令和の家庭教育支援の現在地

骨太の方針2025(令和7年6月13日閣議決定)

(2) 少子化対策及び子ども・若者政策の推進
(若者支援及び困難に直面することの支援を始めとするこども大綱の推進)

子どもを取り巻く深刻な状況を踏まえ、**教育と福祉の連携により、いじめ・不登校や悩みに直面することもや保護者への支援、子ども・若者の自殺対策強化を推進する。**

2. 家庭教育支援チームへの期待

○家庭教育支援チームが行う家庭教育支援



○チームが、行政だけでは解決が困難な**保護者等の課題**に対して、地域住民等とともに解決していくこと

○チームが、行政、地域住民、子育て支援関係団体等をつなぐ**役割**を果たすこと

○チームが、地域のことを**主体的に考え行動できる機会、場所**となること

平成30年11月文部科学省「家庭教育の手引書」より

○家庭教育支援チームは、子育てを行う保護者を支援する為に全国で推進されている組織です。文部科学省の登録制度において、岐阜県では現在19チームが登録し活躍中です。東濃地区では中津川市に家庭教育支援チーム「すくすく わくわく まあるい ところ」があります。平成29年度にはその活動が認められ「文部科学大臣表彰」を受けています。現在も中津川、恵那地区の乳幼児学級などで、乳幼児とその保護者に楽しい遊びを提供しながら、親の学びを支援しています。

2 愛知県稲沢市家庭教育支援チーム NPO 法人ふぁみりい・らぼ 代表理事 川口ゆかりさんから「社会で子どもを育てる」をテーマにご講演いただきました

○「ふぁみりい・らぼ」の活動は、長年にわたり支援のニーズをくみ取る形で、活動の幅を多岐にわたり広げてきた歴史があることがわかりました。こんな支援チームが地域にあれば、家庭が孤立することなく地域や学校など様々な機関と「つながっていきける」ことがわかりました。

3 交流会 郡上市家庭教育支援チームの活動紹介【中濃地区家庭教育学級長さん応援通信より】

郡上市家庭教育支援チームは4月の家庭教育学級リーダー研修会にて、各園、学校の家庭教育学級の運営をサポートすることを連絡しました。

↑ さっそく7月には、郡上市立口明方小学校での家庭教育学級「1年生親子給食会・子育てサロン」にて、アドバイザーを依頼され、保護者交流をリードされました。参加者からも「アドバイザーからの一言がうれしかった。」との感想があったそうです。